

総務文教常任委員会記録

【所管事務調査】

令和2年12月4日

【開催日】 令和2年12月4日（金）

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午後4時～午後4時19分

【出席委員】

委員長	河野 朋子	副委員長	伊場 勇
委員	奥 良 秀	委員	笹木 慶之
委員	中岡 英二	委員	長谷川 知司
委員	山田 伸幸		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野 泰	副議長	矢田 松夫
----	------	-----	-------

【執行部出席者】

教育長	長谷川 裕	教育部長	岡原 一恵
教育次長兼教育総務課長	吉岡 忠司		

【事務局出席者】

事務局長	尾山 邦彦	事務局次長	石田 隆
------	-------	-------	------

【審査内容】

1 津布田小学校の統合について

【会議の概要】

《吉岡教育次長兼教育総務課長から、資料「津布田小学校の今後についての説明会等の経緯」について説明》

・平成30年

津布田小学校の学校運営協議会で統合について説明。

・同年9月10日

学校運営協議会で説明したところ、保護者の意見を最大限尊重してほしいと委員から要望があり、10月、11月と保護者向けの説明会を開催。

この説明会の中で、アンケートを実施してほしいという要望が挙がる。

・平成31年1月

津布田小学校の今後についてのアンケートを実施。提出が38世帯。「市の決定に従う（埴生小・中学校に通わせてもよい）」が28世帯、「津布田小学校通わせたい」が8世帯、「未記入、無効」が2世帯。この経過を回答された保護者に発送。

・同年4月

アンケートについての説明会を開催し、保護者の総意をまとめてもらうようお願い。

・同年（令和元年）9月

P T Aがアンケートを実施。「令和3年度から埴生小・中学校との統合を希望する」が26世帯、「希望しない」が6世帯。

・同年11月9日

P T A臨時総会を開催。三つのを一まとめにして、賛成か反対か採決。一つ目が「令和3年度の統合は見送る」。二つ目が「令和4年度以降の統合に向け、市との協議を進めていく。会員の質問を取りまとめ市に回答を求め、市からの回答を受けて協議を行い、要望書を作成し市に提出する」。三つ目が「執行部は代わっても統合に向けた条件整備をしていく」。結果、賛成が11、反対が10、どちらでもないが1。

・令和2年6月1日

津布田小学校統廃合に関する要望書が市に提出された。内容は、スクールバスに関する要望、校服（制服）及び体操服に関する要望、児童クラブに関する要望、その他で、「なお、この要望書をもって令和4年度より、津布田小学校は埴生小中学校との統合を要望いたします」との一文が添付されたもの。

・同年7月15日

市から回答を送付。

・同年7月20日

津布田小学校の学校運営協議会に対して、これまでの経緯を説明。

・同年8月28日

再度、P T Aから「津布田小学校 統廃合に関する件」という文書が提出された。内容は、「7月15日の市の回答書を受けて、「津布田小学校 P T A会員に開示し協議した結果、津布田小学校 P T Aは令和4年度より、埴生小中学校との統合することを要望すると決定いたしました。」というもの。

・同年10月30日

津布田小学校の統合に係る説明会を地域の方を対象にして開催。内容は、「山陽小野田市立学校規模・適正配置基本方針について」、「津布田小学校児童数、クラス数の推移について」、保護者に対して行った「これまでの説明会等の経緯について」、「統合スケジュールについて」。

・今後の予定

津布田小学校統合に向けた協議会組織図案という資料の中の山陽小野田市立学校適正規模・適正配置基本方針の中の3学校の適正配置(3)基本方針のイの中にある「なお、適正配置を行うこととなった学校については、その際、隣接校区の保護者、地域住民を含む関係者により構成する協議機関を設置し、共通理解に努めながら、2年以内を目途に実施のための必要な調整を図るものとする。」という基本方針に従って、津布田小学校の統合協議会を設置。

委員は、津布田校区の地域の代表の方、埴生校区の地域の代表の方、津布田小学校、埴生小学校、埴生中学校のP T Aの方、津布田小学校の教職員、埴生小学校の教職員で構成。この協議会の中には、①スクールバスの運用について協議する通学部会、②教育課程や学校行事の検討、調整、児童の交流事業の検討実施、教材、教材備品等の検討を行う学校部会、③統合後のP T A組織の調整(役員体制や会費、活動内容等)を行うP T A部会、④閉校式等の検討をする総務部会の4つの部会があり、その部会の下に、必要に応じてワーキンググループを設置可能。

統合までのスケジュールとして、協議会は、計4回予定。協議会と協議会の間に、先ほどの4つの部会を随時開催予定。第1回目の統合協議会は12月末から1月頭を予定。統合協議会終了後に会報を発行し、津布田校区、埴生校区の地域の方々、P T A、保護者の方々に進捗状況等をお知らせ

せする予定。

その後、令和3年3月に閉校式、令和4年4月から統合。

【主な質疑】

山田伸幸委員 部会は、委員が幾つか掛け持つのか。

吉岡教育次長兼教育総務課長 部会は四つあり、委員が関連する部会にそれぞれ参加するので、二つの部会に参加する方もいる。

山田伸幸委員 埴生小・中学校に吸収合併みたいなになるのか。

長谷川教育長 埴生小・中学校へ統合されることになろうかと思う。

山田伸幸委員 制服、校歌など全てのものが埴生小・中学校に合わすことになるのか。

長谷川教育長 そのようになると思う。ただ、文化が大きく変わることになるので、子供たちに適応させるため、現在、学校教育目標等も津布田小学校と埴生小中学校を一緒にして指導を行っている。また、交流事業も計画的に進めていくようになっている。学校部会の中でも検討されていくことになる。

山田伸幸委員 アンケートを見ると津布田小学校単独がいいという方が何名もいるが、そういった方に対して、どのように働き掛けるのか。

岡原教育部長 P T Aの総意として統合という要望を出されてはいるが、このままが良かったという気持ちを一部持ちながらの統合になる。そういうことを認識しながら、これから統合を進めていかなければいけない。子供も一番だが、やはり親御さんの気持ちを考えて、埴生小学校に溶け込んでいけるような対応をしていきたい。

山田伸幸委員 現在の津布田小学校の校舎、グラウンド、体育館などはどうするのか。

吉岡教育次長兼教育総務課長 跡地の利用等は、今後また別に協議する。

山田伸幸委員 子供たちがどうなじむかが一番の不安である。低学年の子供、6年生から中学校1年生になるときが、これまで以上に心配だがどうか。

長谷川教育長 そういったことのクッションについては、先ほど申した共同事業等を進めていく上で、津布田小学校の教員をある程度埴生小学校に異動させ、違和感のない統合が進められていくよう配慮していく。

笹木慶之委員 スクールバスや制服の問題は、水面下での調整が済んでいるのか。おおむね地元の要望に応えられるだけの条件を市が持っているということか。

吉岡教育次長兼教育総務課長 そのとおりである。市の内部でもそのような調整をしている。

長谷川知司委員 今年度から埴生小中一貫校になっている中で、津布田地区から子供たちが行くと、どうしても津布田地区の子にとっては遠慮が出てくるのではないか。また、埴生はもう小中一貫が2年間先に進んでいて、津布田地区が2年遅れてくる。このフォローをどう考えているか。心配するような支障はないのか。

長谷川教育長 これまで埴生小中一貫校の構想をまとめていく際に、津布田小学校も一緒になってその構想を作り上げてきた。スムーズに統合が進むように配慮してきたものである。支障が出ないように努力していく。これから部会ごとの協議の中でも、そういった具体的な方向性について協議していくことになる。

伊場勇副委員長 初めて地域の方を対象に行った10月30日の説明会で出た意見を少し詳しく教えてもらいたい。

吉岡教育次長兼教育総務課長 跡地の管理は誰がするのか。スクールバス、制服の補助、通学路の安全について。現在の埴生小・中学校の状況について。この説明会を保護者よりも先に地域の方にすべきではなかったのか。学校がなくなるのは寂しい。跡地利用と地域の活性化に取り組んでほしい、などの意見も頂いた。

河野朋子委員長 今から始動していくので、また報告の機会があると思う。気付きがあればまた委員会を行うこととして、本日の委員会を閉会する。

令和2年（2020年）12月4日

総務文教常任委員長 河野朋子